

品川区

都市型観光プラン
概要版



平成 28 年 3 月



品川区 都市型観光プラン 体系図

第1章 計画策定の背景

1-1 近年の観光振興の全国的動向

- ◆全国各地で進められている都市型観光
- ◆訪日外国人観光客の増加
- ◆観光を巡る地域間競争
- ◆観光振興に関わる国や都の動向

1-2 しながわ観光の“これまで”（評価・総括）

- (1) 品川区都市型観光アクションプランの概要
- (2) アクションプランに基づく取り組み状況（成果・課題）
 - ◆成果：まち歩き観光の推進、案内拠点の整備、多様な媒体を活用した情報発信
 - ◆課題：プロモーションの強化、各種環境整備、受入れ体制の充実

第2章 しながわ観光の特徴と課題

2-1 しながわの観光的特徴

- ◆点在する**歴史資源**
- ◆**水辺環境**をはじめとする豊かな自然
- ◆都内随一の元気な**商店街**
- ◆各地域で行われている**文化芸術・スポーツ**
- ◆発達した**交通ネットワーク**と恵まれた**立地**

2-2 しながわ観光を巡る社会情勢の変化

- ◆**外部環境の変化**
⇒羽田空港の国際化、2018年明治維新150周年、2020年リトニッパ・リニッパ東京大会、2027年リニッパ中央新幹線品川駅開業
- ◆**内部環境の変化**
⇒ビジネス需要の高まり、大崎バスターミナル開業、五反田リバーステーションの整備

2-3 今後のしながわ観光の課題

- (1) しながわにおける観光とは
- (2) 今後の課題
 - ◆水辺環境を活かした観光の充実
 - ◆2020年リトニッパ・リニッパ東京大会に向けた**国際観光、スポーツ観光**の強化
 - ◆まち歩き観光の更なる充実
 - ◆観光に関わる様々な**連携強化**
 - ◆魅力を楽しむための**拠点の整備・充実**
 - ◆しながわ観光の知名度向上に向けた**プロモーションの強化**
 - ◆区民による**“もてなし力”**の向上
 - ◆**区民観光**の推進
 - ◆社会情勢の変化への対応

第3章 しながわ観光のコンセプト・目標

3-1 コンセプト・目標

繰り返し訪れて楽しいまち しながわ
～日常の生活環境に着目した官民連携による
都市型観光の推進～

3-2 計画期間

- ◆前期5年（H28～H32）⇒Before五輪
- ◆後期5年（H33～H37）⇒After五輪
- ※五輪後に必要に応じて計画を見直し

3-3 マーケット、ターゲットの考え方

- ◆しながわ観光のマーケット、ターゲットとその特徴

第4章 しながわ観光の戦略と施策

観光コンテンツの充実と情報発信

戦略A 観光コンテンツの充実 ～“しながわ”ならではの過ごし方の提案～

- A-1 ウォーターフロントを核とした賑わい創出
- A-2 商店街を活用した観光の推進
- A-3 歴史めぐり観光の推進
- A-4 スポーツ観光の推進
- A-5 文化・芸術観光の推進
- A-6 しながわショートトリップの推進

戦略B 情報発信の強化

- B-1 観光案内拠点の更なる充実
- B-2 多様な媒体を活用した**情報発信**
- B-3 情報の一元的集約と発信
- B-4 他地域や宿泊・交通事業者等との**連携によるプロモーション**
- B-5 区民への適切な**情報発信**
- B-6 外国人観光客獲得に向けたプロモーション強化

しながわ観光を支える仕組み・環境・体制の強化

戦略C 連携による魅力の向上

- C-1 交通との連携による魅力の向上
- C-2 区内の施設との連携による魅力の向上
- C-3 関連産業との連携による魅力の力向上
- C-4 広域連携による魅力の向上

戦略D 魅力的な環境づくり

- D-1 観光拠点・交通インフラの充実
- D-2 公共空間の観光活用の推進
- D-3 良好な**景観形成**
- D-4 **情報インフラ**の充実
- D-5 安全で安心な観光都市の形成

戦略E しながわ観光を支える体制の充実

- E-1 担い手の育成
- E-2 推進組織への適切な支援
- E-3 外国人観光客の受入れ体制強化
- E-4 観光統計等の整備

第5章 実現化に向けた推進体制

5-1 各主体の役割

⇒品川区、観光協会、区民、民間事業者、区民・ボランティアの各役割

5-2 観光振興の推進体制の強化

⇒区民、各種地域団体（まちづくり、ボランティア等）、観光関連事業者（宿泊、交通、物販、飲食、観光等）、観光協会、行政等の連携を深め、協働して取り組んでいくための協議会組織の設立

1. 計画策定の背景

品川区では、平成18年3月にしながわ観光協会と共同で「品川区都市型観光アクションプラン」を策定し、プランに基づいた様々な取り組みを行ってきましたが、観光をとりまく時代背景が変化したことなどを受け、計画の改訂に至りました。

■しながわ観光の“これまで”（評価・総括）

これまでの10年間は、区内に点在する人々の暮らしに根ざした身近な観光資源を発掘し、磨き上げ、輝かせることを基本とした都市型観光に取り組んできました。今後は、これまでの成果を発展させ、課題を解決して観光振興を行っていくことが重要です。

《 アクションプランに基づく取り組みの成果 》

- ・まち歩き観光の推進 つまみ食いウォーク、しながわ発見 観光まち歩き、文化財めぐりツアー 等
- ・案内拠点の整備 品川宿交流館、しなかん PLAZA、しながわまちかど案内所、案内サインの整備 等
- ・ホームページなど多様な媒体を活用した情報発信 観光マップ、パンフレット、アプリ、動画作成 等

《 アクションプランに基づく取り組みの課題 》

- ・観光情報の一元化とプロモーションの強化 個々のイベント、活動情報の一元化 等
- ・各種環境整備と規制緩和への取り組み 水辺活用促進のための施設・環境整備、規制の緩和 等
- ・受入れ体制の充実 区民レベルのおもてなし意識の醸成、人材育成 等

2. しながわ観光の特徴と課題

■しながわの観光的特徴

品川区内には、東京タワーや東京スカイツリーのように強力な集客力をもつ観光資源は存在しませんが、まちの歴史や生活の営みに根ざした多様な地域資源が点在しています。これらの資源は、そこに生活する区民にとってはありふれたものかもしれませんが、見せ方や伝え方の工夫次第で、外から訪れる人にとって魅力的なものになります。

《 観光的特徴 》

- ・発達した交通ネットワークと恵まれた立地 江戸時代からの交通要所、羽田空港・品川駅に隣接、鉄道網
- ・点在する歴史資源 旧東海道品川宿、寺社仏閣、各地域の祭礼、幕末～明治の偉人の墓 等
- ・水辺環境をはじめとする豊かな自然 目黒川、品川浦、京浜運河など多様な水辺、多くの公園・庭園
- ・都内随一の元気な商店街 戸越銀座商店街、武蔵小山商店街、荏原町商店街、中延商店街 等
- ・各地域で行われている文化芸術・スポーツ 区民芸術祭、区民スポーツ大会、しながわマラソン大会 等



■社会情勢の変化と今後のしながわ観光の課題

この10年間で「羽田空港国際化」や「オリンピック・パラリンピック東京大会の開催決定」等の外部環境の変化に加え、区内でも「ビジネス需要の高まり」や「新施設の開業」等の変化が起こっています。今後は、これらの社会情勢の変化を踏まえ、観光振興に取り組んでいく必要があります。

《 しながわ観光を巡る社会情勢の変化 》

年	これまでの出来事・これからの出来事
平成 18 年（2006 年）	品川区都市型観光アクションプラン 策定
平成 22 年（2010 年）	羽田空港 国際線ターミナル 開業
平成 27 年（2015 年）	大崎バスターミナル オープン
平成 30 年（2018 年）	明治維新 150 周年
平成 31 年（2019 年）	プレオリンピック関連イベント、ラグビーワールドカップ、五反田リバーステーション オープン
平成 32 年（2020 年）	オリンピック・パラリンピック東京大会
平成 39 年（2027 年）	リニア中央新幹線 品川駅 開業（予定）
...	

3. しながわ観光のコンセプト・目標

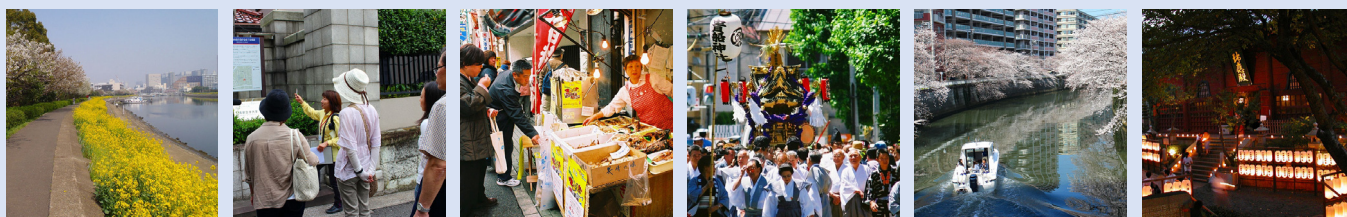
これまでの取組み・今後の課題等を踏まえて、しながわ観光のコンセプト・目標を以下のように定めます。

- ◆これまでの取組みの継承 ～都市型観光の継続的展開～
- ◆まちづくりの一環としての観光振興 ～官民連携による観光まちづくりの推進～
- ◆新たな時代への適切な対応 ～新たな顧客の獲得、五輪レガシーの活用～
- ◆繰り返し訪れて楽しい観光都市づくり

《 しながわ観光のコンセプト・目標 》

繰り返し訪れて楽しいまち しながわ

～日常の生活環境に着目した官民連携による都市型観光の推進～



《 計画期間 》

平成 28～平成 37 年度(2016～2025 年度)

前期計画期間（5 年）：

平成 28 年度～平成 32 年度 【Before 五輪】

後期計画期間（5 年）：

平成 33 年度～平成 37 年度 【After 五輪】

※平成 32 年度末を目処に必要な応じて、オリンピック・パラリンピック東京大会（平成 32 年度開催）の開催結果を踏まえた計画の見直しを実施

《 ターゲット・マーケットの考え方 》

- ◆区民や区内在勤・在学者、近隣区民、沿線市民
暮らしに身近な資源を活かした集客
- ◆ビジネス客（国内外からの東京への出張者）
ビジネス街としての性格を活かした集客
- ◆外国人観光客
増加を続ける外国人観光客の獲得
- ◆シニア世代
歴史資源やまち歩き観光を活かした集客

4. しながわ観光の戦略と施策

しながわ観光のコンセプト・目標の実現に向けて、以下に示す5つの戦略に基づいて観光施策、関連事業を推進していくとともに、事業者、関連団体、観光協会等の観光に関わる取組みを支援していきます。

しながわ観光の5つの戦略と施策の体系

観光コンテンツの充実と情報発信

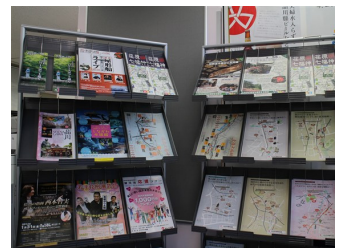
戦略A 観光コンテンツの充実 ～“しながわ”ならではの過ごし方の提案～

- ◆区民の生活や暮らしに密着した身近な資源の観光資源としての活用（まち歩きツアーやイベントでの活用）
- ◆他の地域では体験できない“しながわ”ならではの過ごし方、“しながわ”らしい観光スタイルの提案（水辺、商店街、歴史、スポーツ、文化・芸術などのコンテンツの充実）



戦略B 情報発信の強化

- ◆資源やコンテンツに関する適切な情報の発信
- ◆多くの人に魅力を知ってもらうためのしかけづくり（観光案内拠点の機能強化・充実や多様な媒体での情報発信、連携によるプロモーション）
- ◆ターゲットへの適切な情報発信（区民や外国人向けの情報発信）



しながわ観光を支える仕組み・環境・体制の強化

戦略C 連携による魅力の向上

- ◆各主体の連携・協力によるノウハウや情報の相互活用（交通、区内施設、関連産業等）、魅力の向上



戦略D 魅力的な環境づくり

- ◆安全・快適にしながわ観光を楽しんでもらうための観光インフラ、環境の整備



戦略E しながわ観光を支える体制の充実

- ◆観光客を迎え、もてなすための体制づくり（区民の意識醸成や観光ボランティアの育成、観光協会や地域の活動団体への支援、外国人観光客の受入れ体制の強化、基礎データとしての観光統計の整備等）



■戦略・施策一覧

観光コンテンツの充実と情報発信

戦略	施策	施策の展開例
基本戦略 A 観光コンテンツの充実 ～“しながわ”ならではの過ごし方の提案～	施策 A-1： ウォーターフロントを核とした賑わい創出	水辺の観光利用の促進 観光舟運の活性化 舟運による広域連携 天王洲・品川浦地区における「水辺・舟運の観光拠点」の形成
	施策 A-2： 商店街を活用した観光の推進	商店街と連携した集客イベントの実施
	施策 A-3： 歴史めぐり観光の推進	歴史資源を巡る観光プログラムの充実 明治維新 150 周年に係る取組みの推進
	施策 A-4： スポーツ観光の推進	「観る」スポーツ観光の推進 「する」スポーツ観光の推進
	施策 A-5： 文化・芸術観光の推進	演劇・音楽・美術等のアートイベントの積極的な誘致・開催 演劇・音楽・美術等のアートイベントの積極的な情報発信
	施策 A-6： しながわショートトリップの推進	区内就業者やビジネス客等をターゲットとしたアフター 5 観光の推進 品川駅や羽田空港利用者をターゲットとした「しながわショートトリップ」の推進 交通拠点を起点とした「しながわショートトリップ」の推進
基本戦略 B 情報発信の強化	施策 B-1： 観光案内拠点の更なる充実	既存の観光案内拠点の機能強化 鉄道駅など交通拠点における観光案内機能の強化
	施策 B-2： 多様な媒体を活用した情報発信	インターネット環境を活用した情報発信の充実 紙媒体による情報発信の継続 マスメディアと連携した情報発信
	施策 B-3： 情報の一元的集約と発信	区内の各地域で開催される小規模な祭礼、イベントの情報を一元的に管理するための仕組みの構築 しながわ年間カレンダーの公開・情報発信
	施策 B-4： 他地域や宿泊・交通事業者等との連携によるプロモーション	東京都や近隣区等との連携による観光プロモーションの実施 宿泊事業者や交通事業者等との連携による観光プロモーションの実施
	施策 B-5： 区民への適切な情報発信	様々な媒体を活用した区民への観光情報の提供
	施策 B-6： 外国人観光客獲得に向けたプロモーション強化	東京都や近隣区等との連携による海外向けプロモーションの実施 品川区の姉妹都市、友好都市等へのプロモーションの実施 区内の大使館や領事館との観光・交流面での連携促進 観光情報の多言語化

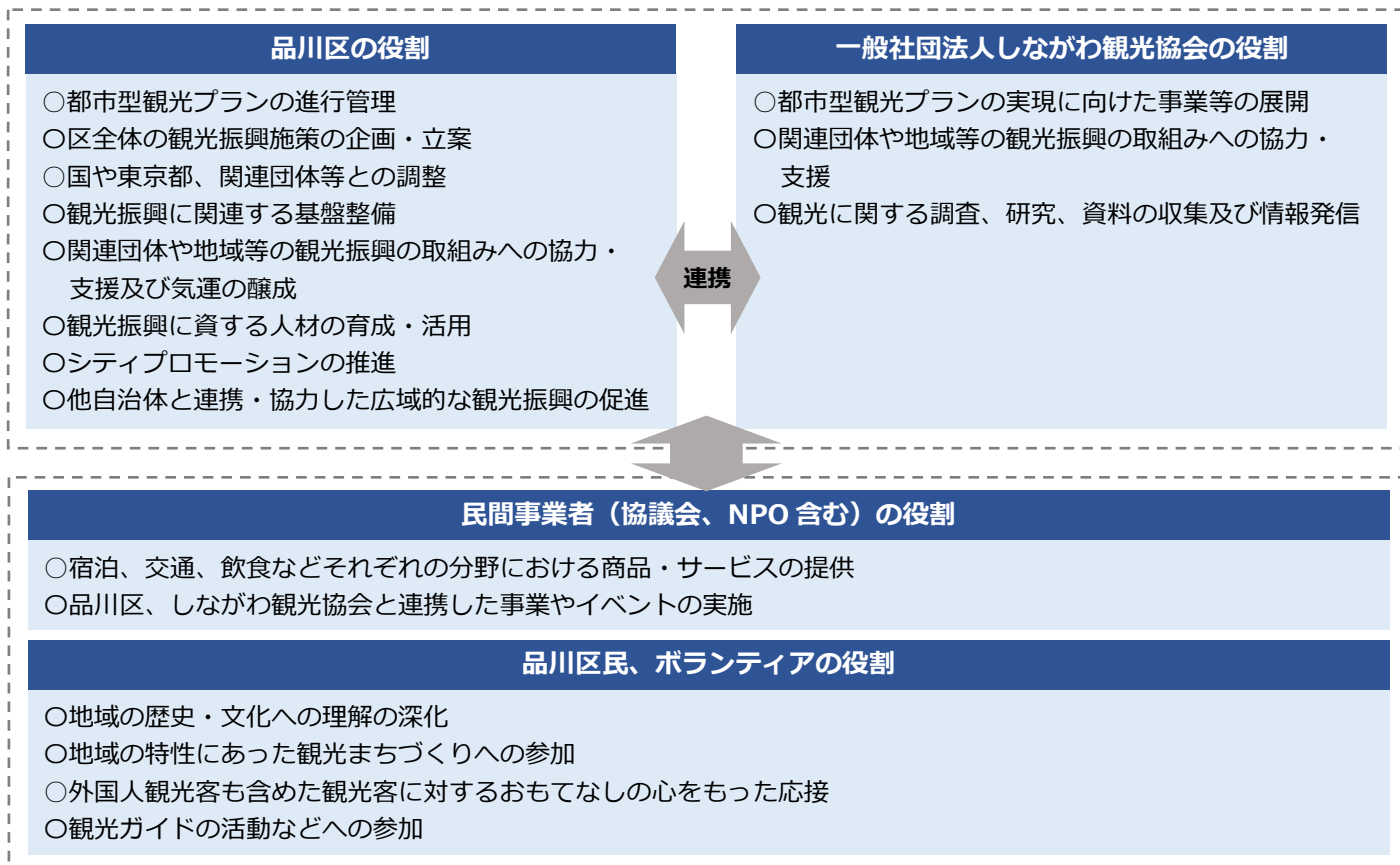
しながわ観光を支える仕組み・環境・体制の強化

戦略	施策	施策の展開例
基本戦略 C 連携による魅力の向上	施策 C-1：交通との連携による魅力の向上	交通事業者と連携した観光プログラムづくり 複数の交通事業者の連携による観光プログラムづくり 鉄道ファンをターゲットとした観光プログラムづくり
	施策 C-2：区内の集客施設との連携による魅力の向上	区内集客施設との連携による利用者のまちなか回遊の促進
	施策 C-3：関連産業との連携による魅力の向上	伝統工芸・区内産業との連携による観光プログラムづくり 宿泊事業者との連携による魅力向上の仕組みづくり 品川区における民泊のあり方の検討
	施策 C-4：広域連携による魅力の向上	東京都や近隣区との連携による広域観光ルートの設定 品川区と縁のある地域との連携
基本戦略 D 魅力的な環境づくり	施策 D-1：観光拠点・交通インフラの充実	水辺の環境整備 五反田リバー駅舎の整備 大崎駅西口バスターミナルの活用 安全で快適な回遊を促すためのインフラ整備 国内外からの観光客の快適な区内回遊を促すための仕組みの検討
	施策 D-2：公共空間の観光活用の推進	河川や道路等の観光活用
	施策 D-3：良好な景観形成	「品川区景観計画」に基づく景観整備・景観形成 五輪競技会場周辺における景観整備
	施策 D-4：情報インフラの充実	案内サインの充実 Wi-Fi スポットの整備
基本戦略 E しながわ観光を支える体制の充実	施策 E-1：担い手の育成	観光に対する区民意識の醸成 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会を見据えたおもてなしの向上 観光ボランティアの育成
	施策 E-2：推進組織への適切な支援	一般社団法人しながわ観光協会への支援 観光まちづくりを担う団体等への支援
	施策 E-3：外国人観光客の受入れ体制強化	外国人観光客が楽しめる観光プログラムの開発 外国語対応可能な人材の育成 外国人観光客が安心して飲食を楽しめる仕組みづくり
	施策 E-4：観光統計等の整備	基礎的な観光統計の整備 観光統計を活用した取組み成果・課題の検討と施策へのフィードバック

5. 実現化に向けた推進体制

■各主体の役割

プランの実現化に向けては、区としながわ観光協会が中心的な役割を担い、観光に関わる各主体がそれぞれの役割を明確に理解し、官民の密接な連携のもとで取組みを進めていくことが重要となります。



■観光振興の推進体制の強化

今後のしながわ観光の推進にあたっては、「品川区」と「しながわ観光協会」を中心に、観光に関わる民間事業者や団体のみならず、区民や一般の民間事業者・団体といったこれまで観光に直接的に関わりの少なかった様々な主体が参画する協議会を設立し、“オールしながわ”で観光振興、観光まちづくりを推進するための体制づくりを行います。

